

世界の常識。リスク対策・情報管理のスタンダード

リスクを大幅に減らし
企業を強くする！

【Autonomyによるリスクマネジメントの課題解決力向上】

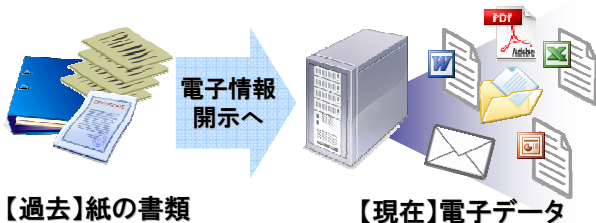
■ 企業を取り巻く危険な状況

“情報”は常に漏洩・流出だけでなく、改ざん、捏造、不正利用、劣化、隠蔽、横領の危険に晒されています。トラブルを防止するのはもちろんのこと、万が一何かトラブルがあった際には、素早く現状や原因(証拠)を突き止め、適切な対応をする必要があります。



■ 法制化の流れ (電子情報開示[eDiscovery])

米国では、訴訟に関する全ての電子データを証拠として開示する法律が2006年12月より施行されています。同種の法律がイギリス、オーストラリアでも制定されており、グローバルに展開する企業は必ず対策が必要となっています。



- ✓ eDiscoveryの成否が訴訟に大きく影響
- ✓ 開示の不備や提出の延滞が裁判所による制裁対象
- ✓ 外国本社の現地法人もeDiscovery対象

■ 遅れている国内企業での対策

各企業において個別に最適化された情報管理・セキュリティ対策はされていると思います。しかし、企業全体としての情報・ビジネスを守るためのリスク対策まで行われていないのが実情です。この部分において、多くの日本企業が世界に大きく遅れていると言われています。

これまでの国内での「リスク対策」
社内の「システム」を守る対策
(ウイルス対策、ファイアウォール、データの持ち出し対策等)

意識と対策の
転換が必要！

これからの「リスク対策」
企業の「ビジネス」を守る対策

世界の常識

■ 世界標準の情報リスク対策・情報管理、Autonomy

Autonomyは、リスク対策・情報管理における課題を解決するためのソリューションとして、世界25,000社に導入され、Fortune100の企業のうちの約90%にも導入されています。

また、グローバルトップ10の法律事務所でも100%、トップ100の法律事務所でも75%が使われており、情報リスク・訴訟対策のスタンダードとして認知されています。



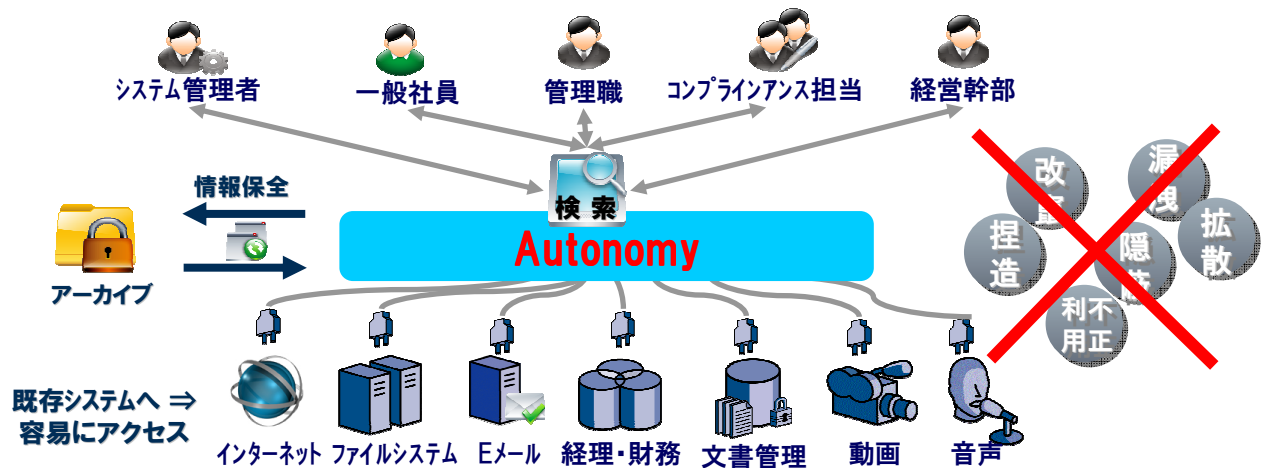
【Autonomyによるリスクマネジメントの課題解決力向上】

■Autonomyとは？

Autonomyは企業が保有する全ての情報資産から「意味」を引き出し、他製品では真似のできない高度な検索、分析、管理を可能にします。企業のあらゆる情報を確実に管理できるため、本当の意味でビジネスを守れます。

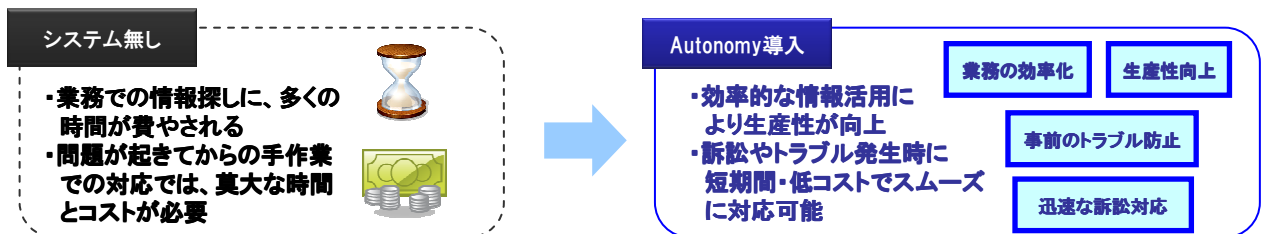
Autonomyの主な特長

- ・ eDiscovery、社内監査などのリスクマネジメント領域に強み
- ・ 情報保全、情報履歴など、機密情報管理を厳格化することが可能
- ・ 概念による検索が可能で、キーワード検索では見つけられない情報を迅速に入手可能
- ・ 言語を問わず動画・音声・メール等も含めたすべてのデジタルコンテンツを分類・検索可能



■リスクヘッジだけではない多くのメリット

Autonomyを導入することで、いざという時はもちろんのこと、高度な情報管理が可能となるため、業務の効率化・生産性向上を実現します。さらに問題の予兆の発見も容易となるため、トラブルを未然に防ぐことが可能です。



■企業危機対応事例 (BP社 - British petroleum)

メキシコ湾原油流出事故



2010年4月にメキシコ湾で操業していたBP社の石油掘削施設が爆発。湾岸戦争に次ぐ事故としては最大規模の原油流出、環境・経済的に甚大な被害発生となった。未曾有の惨事に対し、BP社は危機対策を早急に行う必要性に迫られた



危機対応への
Autonomyの活用

- ✓ 検索エンジンにより、書類、設計図、施設内写真等の関連情報を収集
- ✓ eDiscovery対応ソリューションにより、訴訟対応準備を開始
- ✓ 証拠保全の実行や関連情報の選別に活用
- ✓ 政府見解、新聞報道、ネット等での反応を収集し、プラン策定及び情報開示に活用

お気軽にご相談ください



株式会社ジェクシード

本社 : 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-6-16 HF青葉台ビル5F
 大阪事務所 : 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2-1-5 平和不動産北浜ビル701号
 お問い合わせ先: 営業部 E-mail: sales@gexeed.co.jp TEL: 03-5456-2510
 URL : http://www.gexeed.co.jp

※ジェクシードコンサルティングは、2012年4月に親会社BBHと合併し、ジェクシードに生まれ変わりました